



このたびの東日本大震災により被災された皆様に、心からお見舞い申し上げますとともに、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。一日も早い復興と皆様のご健康をお祈り申し上げます。

あすなろ子育て広場 スタッフ一同

# 生きる

センター長 小松 栄子

今ほど生きること、生命、人の無力さと自然の勢いを感じ、襲いかかってくる災害を目の当たりにして生かされている我を還みる機会となったのが『東日本大震災』

これまで至るところで起きている災害、まもなく四年を迎えようとした『能登半島地震』三月と同じ月、今もその日の

情景が浮かび、瞬間、何が起きているか解せず軋みと轟音が、連日の余震の不安と身体が揺れている錯覚、暗く寒い淀んだ日、終日鳴るサイレン音、買い出しに出ても誰彼顔も上げず塞ぎうつむき会話もはばかりの様相、生活が回復するにつれ気持ちも周辺の人々の顔も変わり始め、被害箇所が改修される毎に段々と薄れた心模様、この度の東日本の災害とは、比べようもなく復興年数の目途は、今は立ちませんが生きる術と英知を以って回復できることを願います。

また何時同じ事が起きるか恐ろしさを感じ、人の命のはかなさ、積み上げた生活全て消えるもろさに何が大切か、気づかされ、『災い転じて福と成す』自然から厳しい叱咤を受け、嘆くより生きるしかない、私達被災していないものは

被災者が復興するまで支援し続けることがせめてもの行いかと思います。

自然に間借り生息する全ての物ものが、未来栄光へと共栄共存し、自然の魔力と魅力の中で生き、最後は

## 新年度が始まりました

前年度同様、今年度もよろしくお願いたします。

皆様との出会いに感謝し、より絆を深め、信頼関係を築いていきたいと思っています。

### あすなろ子育て広場 ご利用案内

#### 臨床心理士対応曜日の変更

今年度より、臨床心理士の対応が週2日より週3日となりました

火曜日・水曜日・木曜日  
予約制になっていますので、あらかじめご連絡ください

子どもと家庭  
に  
ついての相  
談

子育て支援短期  
利用事業のご案内  
ショートステイや  
休日預り事業等の  
利用受付

#### 地域啓発活動

子育てに関する  
講演会・学習会の  
企画・実施など

#### その他の地域 子育て支援事業

サークルや団体の  
活動支援・会場の  
提供など

電話 0768-52-4141

FAX 0768-52-4140

携帯メール kosodate.sweet@docomo.ne.jp

PCメール kosodate@sweet.ocn.ne.jp

住所 〒927-0035

鳳珠郡穴水町志ヶ浦15字1番地3

# はぐくむ

公立穴水総合病院の助産師の藪 敬子さんから  
メッセージをいただきました。



東日本大震災により被害を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。  
被災地の一日も早い復旧、復興をお祈りいたします。

3月11日の勤務中に「あれっ？地震？」と誰かの声。なんか揺れたよなと思いながら病室へ。テレビの地震報道で津波が押し寄せて来る映像が流れた。まるで津波が東日本を支配するように地を這って行った。12日午後7時の警察庁のまとめで12都道府県で死者が1万3232人、行方不明者が6県で1万4554人と大惨事をもたらしている。四年前の能登半島地震の記憶が甦った。幸い奥能登には原子力発電所がなく放射能汚染の心配は免れた。

地震発生から一ヶ月、この間にどのくらいの赤ちゃんが誕生したのだろう。水や食物や環境が放射能によって汚染され、特に妊娠中の方や乳児を抱えるお母さんたちの恐怖ははかり知れない。私は、今だからこそ、地球という環境を『妊娠中の母体環境』と同一化し、考えて欲しいなと思った。人間の赤ちゃんは、お母さんのおなかの中(子宮)で地球の生命の進化の歴史を驚異の期間で成し遂げる。アメーバのような原生動物から魚類や両生類、爬虫類、犬やウサギのような哺乳類、原始的なサル、チンパンジーのような類人猿、そして進化した人間。人間の赤ちゃんは、地球上に生物が誕生してから人類が発生するまでの35億年もの長い長い長い進化の歴史を1年にも満たない10ヶ月で辿りながら生まれて来る。母親も胎児も本当にすごいな～妊娠で神秘だなと誰もが思うことだ。胎児はへその緒で子宮から胎盤につながり、そこでお母さんの血液から供給される酸素や栄養を受け取り、いわゆるガス交換を行っている。胎盤は赤ちゃんの体に害を及ぼすモノを通過させないような役割も持っているが、影響力大であるウィルスや人口的に作られたアルコールやニコチン、麻薬などの毒物は容易に通過してしまう。

受精して3週間目ぐらいから1か月半ぐらいまでの期間、もしかして妊娠したかな？と体の変化に気づくころには、心臓・脳・目・耳・鼻・手足となる器官の基本ができあがっている。そして、母体という環境に守られ身体と脳が育ち進化していく。今は、放射能汚染が取り沙汰されているが、汚染はそれだけではない！私達が住みやすい地球環境は『胎児』にとって『赤ちゃん』にとって成長しやすい母体環境と同じだと言える。こんな時期だからこそみんなで助け合うことの素晴らしさ、お年寄りの知恵を拝借する賢さを遺伝子に取り込みたい。35億年という進化の過程を超スピードで駆け抜けている胎児を安全な環境で育てたいという妊婦・妊婦予備軍が今より増えることを心より願う。

地域で活動している  
グループをご紹介します

穴水町お話しボランティア

『こぐまグループ』



今回は穴水お話しボランティア『こぐまグループ』の活動をご紹介します。実は、前号でお知らせした通り、こぐまグループさんのご協力の下、「絵本がそだてる子どもの心」をテーマとした地域講演会を開催する予定だったのですが、東日本大震災の影響で講師の先生が来県できず、やむを得ず中止となってしまいました。楽しみにして下さっていた皆様にはあらためてお詫び申し上げます。また、同じテーマでの講演会を企画したいと思っていますので宜しくお願いします。

さて、穴水お話しボランティア『こぐまグループ』は毎月第2土曜日の10時30分から穴水町立図書館で定例のお話し会をしています。先日、私もお邪魔させていただいたのですが、絵本の読み聞かせの他にも、詩の朗読や素話、そして簡単な手づくり絵本の製作など子どもたちが主体的に参加できるメニューもあって盛りだくさん。なごやかな雰囲気の中で過ごす時間はとても心地よかったです。

“絵本は「心のサプリメント」です。来てくれる子どもたちにとくさんのお話の世界を届けながら、活字離れ防止の一助となれば良いなあ”とスタッフの方がおっしゃっていました。

上記の定例会の他、輪島市の図書館や第二平和保育所などでの話し会も予定されているそうです。

ぜひ皆さん、足を運んでみてください。

## 編集後記

色々なことを考えさせられる春になりました。「普通の毎日」を過ごせることに感謝し、何か自分なりに出来ることを探しながら・・・がんばります！私も  
山下

